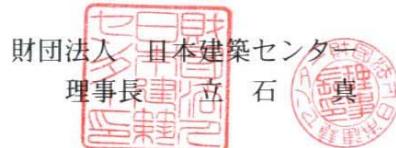




B C J 評定-FD0302-03

## 評 定 書

ジャパンパイル株式会社	代表取締役社長	黒瀬 晃 様
日本高圧コンクリート株式会社	代表取締役社長	小笠原 昌平 様
前田製品販売株式会社	代表取締役社長	佐藤 壽秀 様
藤村ヒューム管株式会社	代表取締役社長	藤村 範夫 様
日本コンクリート工業株式会社	代表取締役社長	網谷 勝彦 様
株式会社トーヨーアサノ	代表取締役社長	植松 真 様
三谷セキサン株式会社	代表取締役社長	三谷 進治 様



平成 21 年 11 月 27 日付で、評定申込みのあった下記の件について、当財団基礎評定委員会(委員長:桑原文夫)において慎重審議の結果、平成 22 年 1 月 22 日付け評定報告書(評定番号: B C J 評定-FD0302-03)のとおり、妥当なものであると評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より平成 27 年 1 月 21 日までとします。

平成 22 年 1 月 22 日

記

1. 件 名 無溶接継手(ペアリング・ジョイント:鋼管杭とP H C 杭を接続する場合を含む)
2. 評定事項 無溶接継手(ペアリング・ジョイント:鋼管杭とP H C 杭を接続する場合を含む)における下記 7 項目に関する一般評定
  - 1) 適用範囲
  - 2) 継手による杭体の許容軸方向力の低減率
  - 3) 継手の性能
  - 4) 継手の仕様・構造
  - 5) 継手の使用材料
  - 6) 継手の製造工場
  - 7) 継手の施工体制
3. 評定区分 変 更
4. 変更内容 評定報告書(B C J 評定-FD0302-03)のとおり。



財団法人日本建築センター

The Building Center of Japan

## 評 定 報 告 書

基 础 評 定 委 員 会  
委員長 工学博士 桑原 文夫



件名：無溶接継手（ペアリング・ジョイント：鋼管杭とPHC杭を接続する場合を含む）

本件は、既製コンクリート杭に設ける継手として、溶接によらない機械式の継手であり、継手の構造方法、継手の性能及び継手による杭体の許容軸方向力の低減率について、平成19年6月13日付けB C J 評定-FD0302-02にて既評定の内容に対し、申込者として、藤村ヒューム管株式会社、日本コンクリート工業株式会社、株式会社トーヨーアサノ及び三谷セキサン株式会社の4社を追加する他、継手金具製造会社の定め方を変更（無溶接継手杭（PJ）工業会が定めた無溶接継手（PJ）金具の製造会社認定規定に基づき、同工業会が継手金具製造会社を認定する方法へと変更。）し、これに併せて、本件の申込者から継手金具製造会社を削除するものとして、評定の申込みがなされたものです。

本委員会は、下記について提出された資料に基づき技術的検討を行った結果、本件は、申込みの範囲において、本委員会で定めた基準に照らし、妥当なものであると判断します。

平成22年1月22日

### 記

#### § 1. 評定申込事項

1. 申込者 ジャパンパイプ株式会社  
代表取締役社長 黒瀬晃  
東京都中央区日本橋浜町2-1-1 田辺浜町ビル

日本高圧コンクリート株式会社  
代表取締役社長 小笠原昌平  
北海道札幌市中央区南2条西3丁目8番地

前田製品販売株式会社  
代表取締役社長 佐藤壽秀  
東京都江東区木場5-11-17

藤村ヒューム管株式会社  
代表取締役社長 藤村範夫  
新潟県柏崎市栄町7番8号

日本コンクリート工業株式会社  
代表取締役社長 網谷勝彦  
東京都港区港南1-8-27

株式会社トーヨーアサノ  
代表取締役社長 植松眞  
静岡県沼津市原315-2

三谷セキサン株式会社  
代表取締役社長 三谷進治  
福井県福井市豊島1丁目3番1号

## 2. 評定事項

別紙1に示す無溶接継手（ペアリング・ジョイント）に関し、下記について評定の申し込みがなされた。

- 1) 適用範囲
- 2) 継手による杭体の許容軸方向力の低減率
- 3) 継手の性能
- 4) 継手の仕様・構造
- 5) 継手の使用材料
- 6) 継手の製造工場
- 7) 継手の施工体制

## § 2. 評定内容

本評定においては、基礎評定委員会で定めた「基礎ぐいの無溶接継手評定基準（平成14年6月21日）」に対し別紙2のとおり適合していることを確認した。

## § 3. 評定経過

平成21年11月27日、委員会において提出資料をもとに概要について検討を行い、詳細な検討は部会を設けて行うこととした。部会においては、提出資料をもとに慎重な審議を行い結果を委員会に報告した。

委員会は部会報告をもとに総括的な検討を行い、平成22年1月22日、当報告を得た。

## I. 無溶接継手(ペアリング・ジョイント)の概要

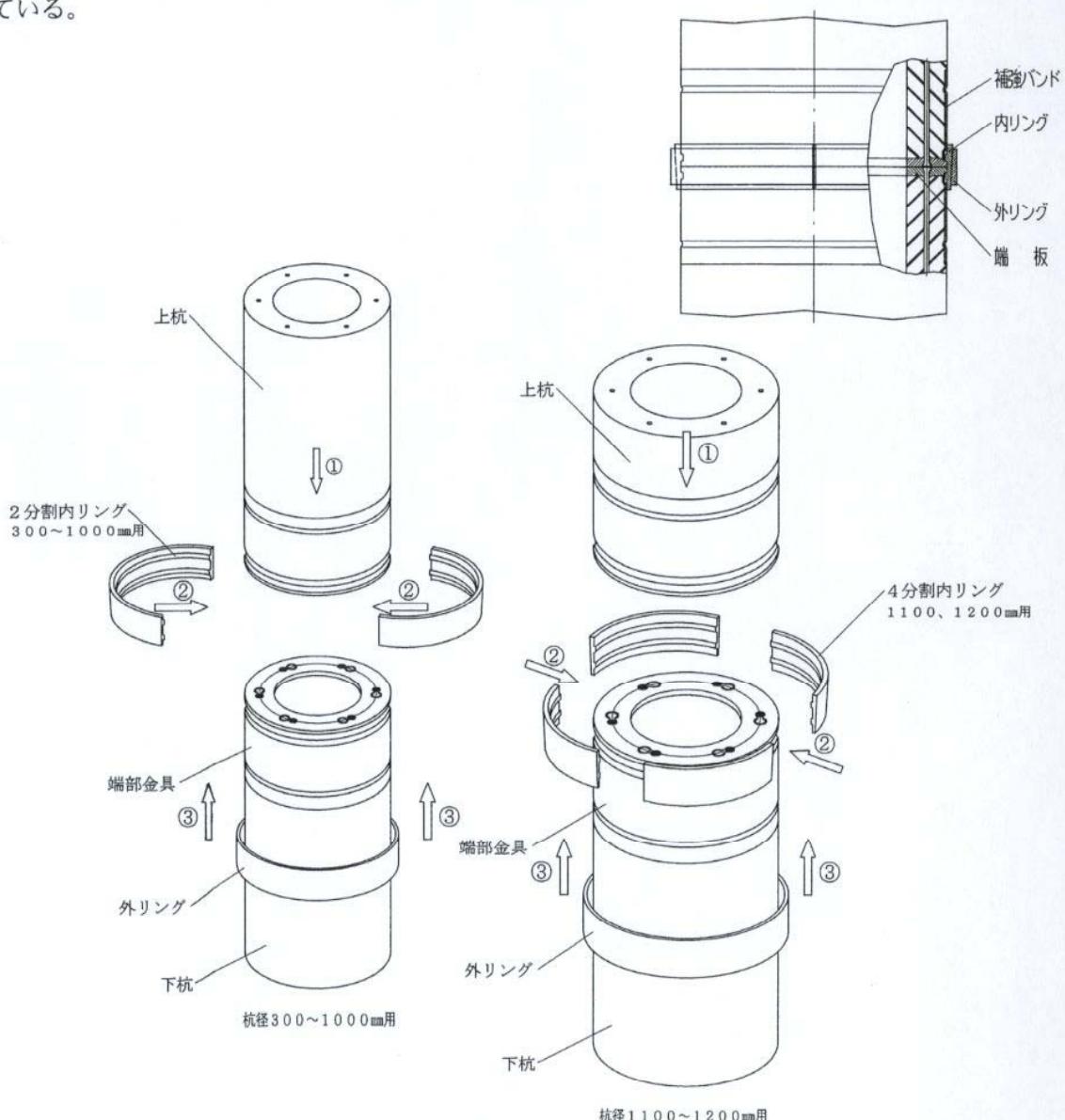
## 1) 継手構造の概要

本無溶接継手は、図-1.1に示すとおり、端部金具、内リング及び外リングから構成されている。

端部金具は、端板と補強バンドからできており、端板は上杭と下杭を突き付き合わせたときに内リングで挟み込むことのできる突起が付いた特殊な形状をしている。

内リングは、分割されており、内側は、上杭と下杭の端板突起部を挟み込むことができる2本の突起がついている。外側は、上方に厚いテーパー状になっており、表面は3mmピッチの細やかな溝が刻まれている。この溝は、同様な溝の刻まれた外リングの内側との間でかみ合う構造となっている。

外リングは、内側がテーパー状になっており、分割された内リングの外側から拘束する役割をもっている。



①～③は施工順序を示す

図-1.1 継手概要図